

令和6年度下半期 水道事業・下水道事業の経営状況

(令和6年10月1日～7年3月31日)

水道事業・下水道事業は、複式簿記による公営企業会計で収支を管理しています。経営状況は、表1～3のとおりです。

なお、複式簿記とは、ひとつの取引引きを原因と結果の二面から記録する会計方法です。

水道事業

水道事業基本計画で定めた、「安全な水道」、「災害時にも頼れる水道」、「持続可能な水道」を目標に、管路網の耐震化や水道施設の設備点検、災害時などのための給水車の購入などを行いました。
☆詳しくは、水道部業務課 ☎543-6111へ。

下水道事業

下水道の役割は、汚水の処理、雨水の処理、公用水域の水質保全です。今後も下水道事業を安定的に継続していくため、下水道管の老朽化対策や耐震化工事などを実施しました。

企業債については、1億1270万円を借り入れ、1億9382万円を返済しました。

☆詳しくは、下水道課へ。

企業債は20年ほどかけて返済しています

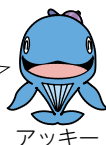


表1 水道事業・下水道事業の利用人口と有収水量

	6年度	5年度	前年度比
水道事業	給水人口	11万5727人	1150人 (1.0%増)
	給水世帯	5万8295世帯	1148世帯 (2.0%増)
	有収水量	618万1646m ³	8万4687m ³ (1.4%増)
	配水量	638万9220m ³	△14万4510m ³ (2.2%減)
下水道事業	接続人口	11万5097人	1172人 (1.0%増)
	接続世帯	5万7978世帯	1156世帯 (2.0%増)
	有収水量	773万7774m ³	△4万3905m ³ (0.6%減)

※有収水量とは、料金徴収の対象となる水量のことです。

表2 企業債(借入金)の現在高

	7年3月末	6年3月末	前年度比
下水道事業	現在高(元金)	27億6169万円	30億5934万円 △2億9765万円 (9.7%減)
	接続人口1人当たり	2万3994円	2万6854円 △2860円 (10.7%減)

※企業債とは、施設の建設や改良のために借り入れるお金のことです。

表3 経理の状況(消費税抜き)

	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	*営業収益 8億9993万円 水道料金による給水の収益	*営業費用 12億6065万円 原水及び浄水費、配水及び給水費、設備修繕費、減価償却費など	*負担金 1010万円 工事経費のうち市や企業が負担する分など	*建設改良費 2億9677万円 水道を安定して使用するための工事(長寿命化、耐震化)などの費用
	*営業外収益 8371万円 預金利息、下水道使用料受託徴収収益など	*営業外費用 1193万円 雨水貯留槽設置助成金など		
	*特別利益 190万円 過年度消費税還付金			
	合計 9億8554万円	合計 12億7258万円	合計 1010万円	合計 2億9677万円
下水道事業	*営業収益 10億1894万円 下水道使用料、雨水処理負担金など	*営業費用 18億7160万円 下水道管などの維持費、汚水の処理負担金、減価償却費など	*企業債 1億1270万円	*建設改良費 3億8951万円 下水道を安定して使用するための工事(長寿命化、耐震化)などの費用
	*営業外収益 5億5695万円 預金利息、一般会計補助金、国・都補助金、長期前受金戻入など	*営業外費用 3503万円 企業債の借り入れ利息など	*他会計補助金 4169万円 一般会計補助金	*企業債償還金 1億9382万円 企業債の元金
	*特別利益 115万円 過年度消費税還付金		*負担金 157万円 受益者負担金、工事負担金	*投資その他資産 125万円 基金積立金
	合計 15億7704万円	合計 19億663万円	合計 2億2916万円	合計 5億8458万円

※収益的収支とは、水道料金・下水道使用料による収入や、水道・下水道の安全な利用に必要な経費のことです。

※資本的収支とは、施設の改良・設置のために必要な経費のことです。